

富富富 管理特報

令和8年4月13日

JAみな穂「富富富」ブランド化推進協議会

収量を確保しつつ高品質な「富富富」を生産するためには、初期茎数を確保することが重要です。健苗育成を基本に、丁寧な代掻きで均平に努め、田植え精度を高めるとともに、田植え後は浅水管理で分けつの発生を促進しましょう。

1 病害虫や雑草防除計画

- 令和8年度の「富富富栽培こよみ」を参考にして防除計画を立てましょう。
- 栽培期間に使用できる化学合成農薬の成分使用回数は12以内です。
- ※「富富富の防除体系」以外の農薬を使用する場合は事前に営農指導員にご相談ください。

【JAみな穂 富富富防除用農薬成分カウント（例）】

種類	商品名	成分数	成分数(合計)	
育苗関係	テクリードCフロアブル	1	10 ※12以内	
苗箱施薬剤	フェルテラ箱粒剤	1		
雑草防除	初期剤	ピラクロン1キロ粒剤		1
	初中期一発剤	アクシズMX1キロ粒剤		3
本田防除	液剤①	モンカットフロアブル		1
		スタークル液剤10		1
	液剤②	ラブサイドK2フロアブル		2

- 漏生による異品種混入防止のため、可能な限り、前年が「富富富」栽培ほ場や転作跡のほ場で栽培しましょう。また前年「富富富」以外の水稲品種を栽培したほ場で、「富富富」を栽培する場合は、漏生対策として有効な成分が入っている初期除草剤（「かねつぐ」等）の活用が有効です。

2 育苗 ~計画的な播種作業で健苗育成~

- 育苗日数が長い老化苗を移植すると、初期分けつの発生が少なく、収量が減少します。活力の高い苗に仕上げるため育苗日数は17~21日程度を目安としましょう。
- 「富富富」は「コシヒカリ」に比べ出芽が遅く、揃いにばらつきが生じやすいため、浸種期間は「コシヒカリ」より1~2日間程度長くしましょう。（浸種開始時の水温は、適温（12.5℃）を確保。）
- 育苗作業及び田植時に苗を取り違えないよう、はっきり品種ラベルを貼付、掲示し、作業員全員が品種をまちがえないようにしましょう。
- 「富富富」の苗は、葉令2.5葉で、草丈11~12cm、第1葉鞘長3cm程度とコシヒカリに比べ、やや小柄な苗に仕上げるのが目標です。

育苗計画の目安

浸種日	播種日	田植日	育苗日数
4/7	4/19	5/10	21日
4/15	4/25	5/15	20日
4/23	5/2	5/20	18日



苗の比較

3 苗箱施薬剤の散布

- 「富富富」では初期害虫対応の苗箱施薬を散布します。ただし、数年間同一ほ場で「富富富」を栽培している場合や前年に紋枯病が発生したほ場では、紋枯病対策の苗箱施薬剤（※）を散布しましょう。

	薬剤名	適用病害虫	使用量(一般苗)	使用時期	成分数
一般	フェルテラ箱粒剤 【富富富専用】	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ニカメイチュウ	箱当り 50g 注2)	は種時覆土前 ~移植当日	【成分数:1】 クロラントラニリ プロール
紋枯病対策※	アレスモンガレス箱粒剤 【富富富専用紋枯病対策】 (前年、紋枯病の発生が多いほ場での使用が◎)	紋枯病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ニカメイチュウ	箱当り 50g 注2)	は種時覆土前 ~移植当日	【成分数:2】 オキサソスルフィル インビルフルキサム

注1)密苗の場合は、10a当たり1kgになるよう50~100g/箱散布する。例)10枚/10aで100g/箱

4 基肥 ~コシヒカリの収量レベルに応じて基肥量を加減~

- 「富富富」の基肥量は、各自のコシヒカリの収量レベルや地力に合わせて加減しましょう。

施肥体系	肥料名	施用量の目安※
一発体系	富富富専用	32~34kg/10a(側条)

昨年富富富の収量が少なかった方は、左表を参考に、地力に合わせて施用量を加減しましょう。

※大豆跡ほ場や発酵けいふんを春施用した場合は、施用量の目安よりさらに1割程度減肥しましょう。

5 代かき・田植え ~適正な田植え作業の実施と初期の水管理の徹底~

- 代かきは田植えの2~4日前に行いましょう。
- 代かき後の濁り水は、ほ場外に流さないでください。また、畦畔沿いに吹き寄せられたワラや一発肥料の被膜殻などをすくい取り、河川に流出させないように努めましょう。
- 5月15日を中心（5/2半旬~4半旬）とした田植えを行いましょう。
- 栽植株数は70株/坪以上、植付深さ3~4cmとしましょう。
- 田植後3日間ほどはやや深水とし、活着を促進しましょう。その後は浅水管理で水温上昇させ、分けつの発生を促進しましょう。

6 除草剤の散布 ~使用方法を厳守し、適期に散布~

田植えからの日数	当日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
一発処理剤の場合(一般苗)	→	→	→	→	→	プライオリティ1キロ粒剤(2成分)																
体系処理	密苗の場合	ピラクロン1キロ粒剤(1成分)				→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	アクシズMX1キロ粒剤(3成分)					
	一般苗の場合	かねつぐ1キロ粒剤(2成分)				→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	プライオリティ1キロ粒剤(2成分)					

- 前作が「富富富」以外の場合は、「かねつぐ1キロ粒剤」を必ず散布しましょう。
- 初期剤を田植え同時処理する場合は、田植え後、直ちに入水しましょう。
- 密苗の場合は、一般苗に比べ植付時の葉齢が若く、活着が遅いため、薬害が発生しやすいことから「ピラクロン1キロ粒剤」を推奨。ただし田植え同時処理は避けましょう。
- 散布後7日間は落水やかけ流しは行わないようにしましょう。